

## 令和7年度第3回大府市文化懇話会 議事録

日時：令和8年3月25日（水） 午後4時から午後5時

場所：大府市役所5階 委員会室3

<出席委員> 6名（敬称略）

加藤 武志（名城大学非常勤講師）座長

伴 恵（大府市文化協会）

張 悦（大府市国際交流協会）

越後谷 卓司（多摩美術大学教授）

山口 智絵子（大府市副市長）

安田 文吉（東海学園大学客員教授、南山大学名誉教授）助言者

【欠席】花井 里名（おおぶの杜育み隊）

<事務局>

市民協働部長

文化交流課長、文化振興係長、文化振興係主査、主事

大府市歴史民俗資料館長

愛三文化会館指定管理者

おおぶ文化交流の杜指定管理者

<傍聴者>なし

### 1 座長、助言者あいさつ

### 2 議題

#### （1）令和7年度下半期事業実績について

資料に基づき事務局、各施設説明

<質疑応答>

（委員）文化交流課が所管している事業のみ紹介されたが、他部署でも文化事業を行っている。55周年事業として、企画広報戦略課で障がい者にやさしいコンサート「サウンドハグ」を実施。250人が参加。とても楽しいコンサートだった。当事者だけでなく親子連れの方に楽しんでいただけ好評だった。その他、教育委員会が担当のジュニア合唱団、商工が担当の盆梅展など、文化事業がたくさんあることを知ってほしい。

(委員) 文化協会として、産業文化まつり、文協まつり、つつじ祭り等沢山活動している。文化協会も習字や花、唄、短歌等活動が盛ん。大府市は住みやすく、他市と比較して文化活動が自由でやりやすい。しかし、高齢化で後継者の問題があり、若い方に入ってもらうために一生懸命活動している。石ヶ瀬小学校のキラフェスは、こどもが自主的に発表する発表会で、市役所で稽古している子ども歌舞伎の女の子が二人活躍していた。子供たちに文化が引き継がれているのを感じた。

大倉公園の休憩棟（文化財）や管理棟は車いすでの移動が大変。盆梅展などのイベントは高齢者が多いが、坂が多く施設の裏側ルートから行くのも厳しい。お手洗いも高齢者には我慢し辛い。高齢者が安心して立ち寄ることができる環境を整えてほしい。

また、イベント開催時の休憩棟への搬入について、道が狭通りにくいため縁石や道幅など改善できないか。

大府市には様々なことを楽しむ方がたくさんいる。盆梅展等で和の空間で発表する人を募集するのも良いのではないか。月見茶会など発表の場の需要がある。

(委員) アートオブリストは非常に面白かった。(来場者への) アウトリーチ、サービスにもなっていたと思うが、アーティストの方をテーマに、来場者とスタッフがコミュニケーションを取っていたのは良いと思う。

たまたま自分はアーティスト・学芸スタッフ共に知り合いだったので漏れ聞いたのだが、現場の負担が大きいとの意見があった。

具体的に一例を言うと、本来は美術作品の運搬には美術展示の専門業者を使うものだが、予算の関係なのか「専門業者による輸送ができない（自分たちで運搬している）」という声を聞いた。市の方がご存知かわからないが、せっかく良い事業内容なので、アーティストや実行委員からの意見を聞いて、現場で何が起きているのか、不満があるならどう解決できるのか、考えてほしい。

隔年開催するなど事務局として予算面で工夫はしているのはわかる。また、アーティストがやる気があって予算超過となるというのもわかるが、そこに折り合いをつけて決めてほしい。

⇒ (文化交流課) 今回のアートオブリストは大変好評であった。予算については、10周年でもあり通常より予算を増額したが、準備を進めていく中で予算が膨らむこともあり、職員がそれをカバーするため頑張ってしまう状況もあった。次回の展覧会に向けて関係者と話し合いながら決定していきたい。

資料 46 ページのこどもクリエイター講座①「アニメをつくってみよう」の講師は誰か。また、54 ページどぶろくまつりの映像は面白そうだ。事前に知っていれば見に行きたかった。以前は新聞やテレビのニュースで知ることがあったが、もう少し情報が伝わるといいなと思った。新聞掲載も中日知多版での掲載のため、

情報を知る人が限られてしまっている。

⇒（歴史民俗資料館）講師は、メタバース『バイオリンの里』制作委託会社の担当者。子供たちが何枚か絵を描き、それをつなげて仕上げていくという内容の講座。

また、どぶろくまつり映像についてはPR不足で申し訳ない。広く行き届けるのは難しいが、長草自治区を始め地元の祭りを再認識してもらう活用も行っている。

（委員）大府国際交流デーを1月に開催した。ボランティアの力はすごいと感じた。他市と比較しても大府市は全く遜色ない内容だ。遊び、料理など満足していただけた。料理も満足できるものだった。ひな祭りに奥三河特有のおこしものづくりなどを行った。この大府の素晴らしい文化活動が海外にも伝わると良い。

## （2）令和8年度事業計画について

資料に基づき事務局、各施設説明

### 〈質疑応答〉

（委員）第九の合唱は学生が歌うのか。

⇒（文化交流課）合唱団は150人に枠を拡大して募集中。市内合唱団や高校生など、なるべく幅広い方に参加して欲しい。初心者でも参加しやすい練習内容とした。

（委員）資料のうち文化振興基金の充当金額を見ると、アートオブリストへの充当額は他事業と比べて多いと思う。

（文化交流課）市から補足事項。55周年スペシャルコンサートのYouTube動画を今夜(3/25)19時に公開する。有料のコンサートは通常公開しないが、セントラル愛知や出演者3人の了承を経て無料でご覧いただける。後日リンクを送るのでご覧いただきたい。

（助言者）大府の文化事業はバラエティに富んでいる。地元の管弦楽団も第九演奏会で一緒にやったらどうか。プロと一緒にやると腕が上がる。ホールでの音楽事業は、今後はラテンなどもどうか。せっかくだからもっと音楽ジャンル・内容を広げていってはどうか。おこしものや正月餅のしきたりなど、食文化を大人がこどもに教えていくことが大切。

（座長）普通こういった会議は堅苦しいが、年3回楽しかった。アドバイザーのレク

チャーや意見も勉強になり、良い会議と思っていた。自分は今期で委員を終えるが、後任は信頼している方を推薦した。さらに楽しい文化懇話会となることを保証する。これからも大府の文化が広がってつながっていくことを願っている。

**【次回開催連絡】** 令和8年5月27日予定